

はじめに

「地刺し」とは戸塚刺しゅうの代表的な手法のひとつで、布目をひろいながら、1種類のステッチまたは数種類のステッチを自由に組合せて模様をつくる技法の総称です。クロスステッチも「地刺し」のひとつです。

創業者の戸塚さくは明治31年生まれ。

昭和の初期にはまだ珍しかった西洋刺しゅうは美しく華やかで、当時の女性の間での憧れでもありました。

そんな刺しゅうに独自のアレンジを加えて、さらに自由で多様性に富んだ表現を生み出しました。

この本では初めての方でも簡単に刺せるステッチを使い、楽しめる地刺しをご紹介します。

「地刺し」は初心者の方でも解説どおり刺すと見本と同じ仕上がりを楽しむことができます。

どことなくレトロな雰囲気も魅力のひとつではないでしょうか。



1 ストレートステッチ
2 バックステッチ



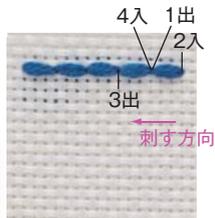
くるみボタンのサンプラー

チェック、ヘキサゴン、葉っぱの模様はすべて6本どりで刺しました。ヘアゴムを付けて髪飾りにしても可愛いです。

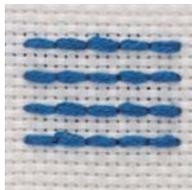
1 ストレートステッチ
2 バックステッチ

どちらもまっすぐ刺すだけの簡単なステッチですが、組み合わせ次第で沢山の模様を生み出すことができます。

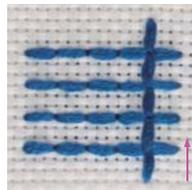
チェック



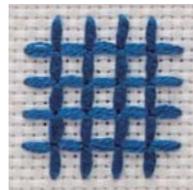
① バックステッチを3目間隔で刺します。4は1と同じ場所に針を入れます。



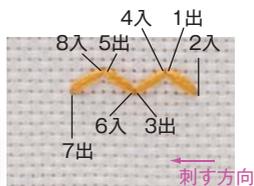
これを繰り返し、ヨコの列を完成させます。



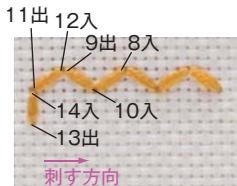
② バックステッチをタテに刺し、完成させます。



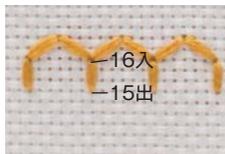
ヘキサゴン



① バックステッチを山型に刺します。4は1と同じ場所に針を入れます。

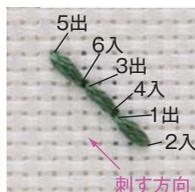


② 布を持ちかえて、ストレートステッチを刺します。

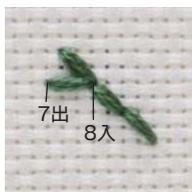


①と②を繰り返し刺します。

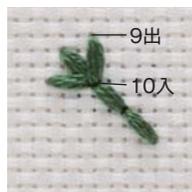
葉っぱ



① バックステッチを斜めに刺します。4は1と同じ場所に針を入れます。



② ストレートステッチを刺します。8は3、6と同じ場所に針を入れます。



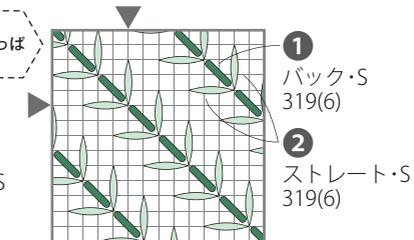
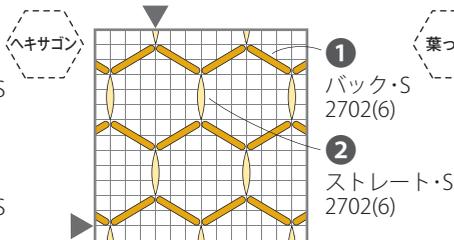
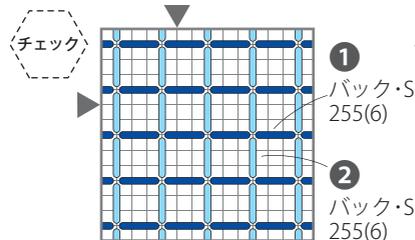
ストレートステッチを刺します。10は8と同じ場所に針を入れます。



②を繰り返し刺します。

ステッチ図の見方

「・S」は、ステッチの略、3~4桁の数字はコスモ25番刺しゅう糸の色番号、()内の数字は糸の使用本数を表しています。
▼▶は、図案の中央を示しています。



● 布、仕立て方は、36ページ くるみボタンを参照してください。

リックラックとドットのがまぐち

モノトーンがシャープな印象の山型模様はストレートステッチ、水玉模様はバックステッチとクロスステッチを使って刺しています。

コインやキャンディーなど小物入れに。

How to make : 34 ページ



a



b

お花のポットマット

ブルーのお花は横に連なるボーダー模様
仕上げました。
キッチンのインテリアとしても活躍してくれる
働きものです。

How to make : 48 ページ



幾何学柄のピンクッション

植物のような幾何学模様のようなパターンの
ピンクッション。

少し懐かしい感じの温かみのある雰囲気
に仕上げました。

How to make : 41 ページ

